

## 資料1-7

# がん関連認定看護師の知識と技術

## 認定看護分野

## 知識と技術(一部)

### ホスピスケア

- 徹底した苦痛症状の緩和（疼痛及び進行がんに伴うその他の苦痛症状の緩和ーリンパドレナージ、呼吸理学療法、口腔ケア等）
- 心理的・社会的・スピリチュアルケアを含む全人的ケア
- 家族へのグリーフケア

### がん化学療法看護

- がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理、副作用症状のマネジメント
- がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメント及び、問題に対するマネジメント能力向上のための支援

### がん性疼痛看護

- がん性疼痛の全人的ペインアセスメントと症状マネジメント
- 薬物療法の適切な使用と管理及びその効果の評価

### 糖尿病看護

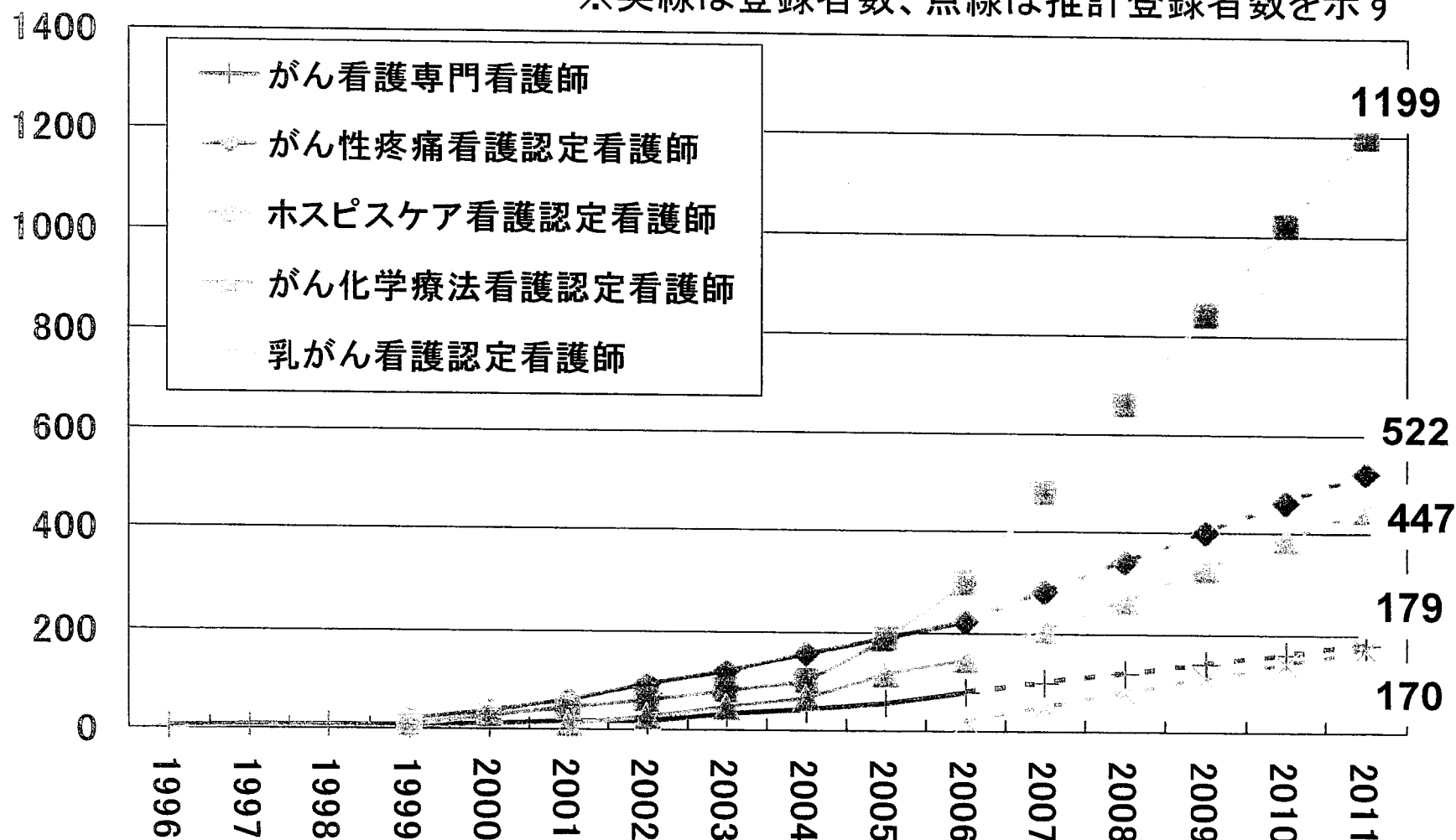
- 血糖パターンマネジメント(血糖コントロール管理)
- フットケア（合併症予防）
- ケアシステム立案（集団指導や地域ネットワークシステムにおけるチームアプローチの促進）

### 乳がん看護

- 乳がんの集学的治療及び治療に伴う副作用に対するケアとセルフケア確立に向けた指導
- リンパ浮腫予防、症状緩和についての指導
- ボディイメージの変容に対する心理・社会的問題に対する支援

# 資料1-8 “がん”関連専門看護師・認定看護師 年度別登録者数

※実線は登録者数、点線は推計登録者数を示す



# 資料1-9

## がん看護専門看護師・がん関連認定看護師の分布 都道府県別登録者数

2007年4月現在総数

がん看護専門看護師(CNS):79名

がん関連認定看護師(CEN):688名

※H:ホスピスケア・C:がん化学療法・P:がん性疼痛看護・  
B:乳がん看護

中国/四国

CNS:7名

CEN:65名(H:32

C:19P:11 B:3)

近畿

CNS:22名

CEN:111名

(H:40 C:43

P:25 B:3)

東海/北陸

CNS:8名

CEN:65名

(H:32 C:14

P:18 B:1)

北海道/東北

CNS:1名

CEN:75名(H:39

C:20 P15 B:1)

九州

CNS:0名

CEN:45名

(H:18 C:13

P:11 B:3)

関東/甲信越

CNS:41名

CEN:327名

(H:138 C:38 P:142

B:9)

## 資料2 日本看護協会における 緩和ケアナース養成研修

実施年度 平成10年度 / 修了者数 : 669名

■ 16日間 / 看護教育研究センター

■ 16日間 / 神戸研修センター

主な研修内容: 腫瘍学 / 緩和ケア / 緩和医療 / 症状マネジメント / 進行がん患者の心理プロセス

施設実習: 笹川医学医療研究財団ホスピスナース養成研修との協賛で行われ、笹川医学医療研究財団指定の8施設のうち1施設を選択する。

【参加条件】実務経験3年以上、職場上司の推薦要、理論学習と施設実習療法に参加可能で以下のいずれかに該当するもの。①ホスピスまたは緩和ケア病棟勤務者、②開棟予定施設からの推薦者、③訪問看護領域での緩和ケア実践者、④一般病棟での終末期患者の看護経験者。①～④の順に受講決定を優先する。

【受講料】会員・非会員とも68,000円(日本財団補助金により)

## 資料3

# 日本看護協会における がん看護に関する研修計画

## 平成19年度 日本看護協会教育計画(期間/定員)

- がん患者の症状マネジメント(2日/120名)
- がん化学療法と看護(3日/120名・3日/140名)
- 一般病棟における緩和ケア(2日/120名)
- 疼痛マネジメントの困難ながん患者への対応(2日/120名)
- がんの集学的医療と看護(2日/120名)
- 地域社会でがんとともに生きる人々への支援(2日/120名)
- がん患者のセクシャリティと看護(2日/120名)
- 造血器腫瘍の治療と看護(2日/120名)
- 放射線療法と看護(2日/50名)

※文章内の資料については、当日持参します。

## 日本がん看護学会よりの意見

(たたき台) p5 2 治療の初期段階からの緩和ケアの実施 の3段落目

緩和ケアを実施していくために、緩和ケアに関する専門的な知識や技術を有する医師や看護師等の医療従事者を育成していく必要がある。

そのために、緩和ケアの領域で高度実践家として実績をあげているがん看護専門看護師等のリーダーが都道府県がん診療拠点病院との組織的連携を結び、緩和ケアに関する教育プログラムの均てん化を進めていく必要がある。

<上記を追記する根拠>

① がん看護専門看護師の貢献が期待できる：質・量両面から

2007年度 がん看護の高度専門職として約 100 名が活躍できる。

(2006年度まで 79名 +2007年度 20名予定)

2012年度までに倍増する

<推計人数>250名(100名+教育認定施設 15施設×2名×5年)

② 「がん看護実践に強い看護師育成プログラム」がすでにでき、都道府県診療拠点病院を中心に実務研修がスタートしている：厚生労働省による「専門分野（がん、糖尿病）にける質の高い看護師育成事業」をうけ、がん看護専門看護師がリーダーとなつてくがん看護実践に強い看護師育成プログラム（資料1） >が作成され、都道府県がん診療拠点病院を中心に実務研修がスタートされている。このプログラムを実施していく上でもがん看護専門看護師がリーダーとしてかかわっている。

2006年度：23都道府県で事業がスタート

2007年度：47都道府県に事業拡大予定

## 第5 その他

### 1. 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化

このため、関係者等は、がんの専門医およびがん看護専門看護師の養成については、がんの専門医認定ならびに専門看護師認定に関係する学会等が協力す

ること、また、学会は患者団体との協力により、解説資料の作成等を通じて患者や家族における診療ガイドラインの理解を助けることができるように努めるなど、有機的連携・協力の更なる強化につとめるものとする。

<上記を追記する根拠>

① がん看護専門看護師の養成については、日本看護協会認定部の実績資料をお願いします。

② 【日本がん看護学会】がすでにごん看護専門職者のキャリア開発事業

1. がん看護専門看護師のキャリア開発を組織的にサポート  
アドバンスドセミナーおよび教育セミナーの継続的開催（平成10年より毎年）→ 認定更新単位につながる修了証の発行  
がん看護専門看護師による学術交流グループ活動の組織的運営  
最新のがん看護の知識と技の集積と、各地域へ発信  
がん看護の質向上をめざした実践改革を提言

2. がん看護専門看護師をコアメンバーとした診療ガイドラインの開発と解説資料の作成

\*腫瘍専門医会と連携し実践適用と修正をすすめている。

① 抗がん剤の血管外漏出の予防、早期発見、対処に関するガイドライン  
(資料2)

② 解説書：患者版ガイドライン (資料3)  
外来化学療法セルフケアキッド (資料4)

4. がん医療に関する相談支援等及び情報提供 (p15) 3段落目、4段落目

がん対策情報センターにおいて、引き続き相談支援センターの相談員に対して研修を行うなど、相談支援を行う者を育成していく。

・・・相談支援を行う者を適切に配置することが望まれる。なお、その際には、既に相談に携わってきたがん領域に特化した専門性の高い看護師等の医療従事者や十分訓練を受けた相談員をもつ患者団体等との連携について検討する。

<上記を追記する根拠>

① あるがん専門看護師が過去3年間に対応した相談支援内容（具体例）

年間約170件の依頼（平均支援期間50日<分布1日～250日>）

相談内容は心のケア（精神的支援）のみならず、疼痛などの症状コントロール、治療と生活のバランスを図っていくこと、入退院や治療の場の移行に関して意思決定していくこと、などの頻度が高い。

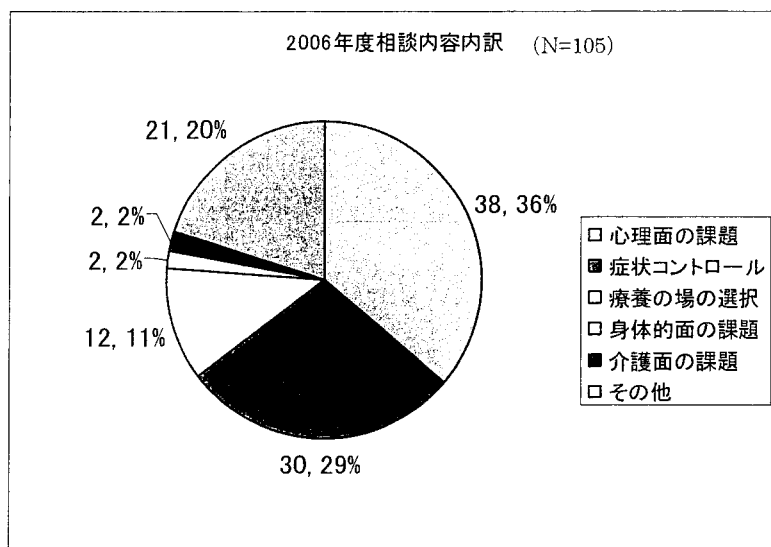


図 在宅緩和ケア支援センターにおける相談内容の内訳

以上からすると、患者や家族は、医師に求めるセカンドオピニオンとは異なる、もっと療養生活に密着した相談、それに対する適切な情報の提供や手立てを必要としている。

また、闘病経験者からの生きた知恵を健康情報として組み入れ、広く活用できるように健康教育ツールを生み出していける相談支援者が求められている。

上記の能力を備えているがん看護専門看護師が相談支援センターでリーダー的役割を果たすことが望まれる。



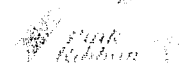


## 告知およびご取材のお願い

### 報道関係者各位

## 日本看護協会の

## ピンクリボンキャンペーンのご案内



社団法人日本看護協会（会長：久常節子）は、2002年から乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」（朝日新聞社、（財）日本対がん協会ほか主催）に後援団体として参加しています。

今年は、「乳がん看護認定看護師」による相談会やJNAプラザでの「乳がん特別企画展」、JNAビルのライトアップなどを実施します。つきましては、キャンペーン内容のご紹介ならびにご取材を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

### 1. ナースによる乳がんケア相談会

- ★ 日 時：2006年10月7日（土）13:00～16:00
- ★ 場 所：日本看護協会ビル3階JNAプラザ（東京都渋谷区神宮前5-8-2）
- ★ 内 容：乳がん看護認定看護師による乳がん患者への療養生活のアドバイスなど
- ★ 実施方法：①電話での事前申込による予約制。相談内容を確認させていただきます  
**予約電話番号：03-5778-8547**  
 ②相談時間は1人30分程度。8～10人を予定。定員になりしだい締め切り

### 2. 乳がん看護認定看護師研修生による街頭キャンペーン

- ★ 日 時：2006年10月7日（土）13:30、14:30、15:30（3回を予定）
- ★ 場 所：日本看護協会ビル前
- ★ 内 容：千葉大学看護学部附属看護実践研究指導センターの、乳がん看護認定看護師教育課程2期生によるピンクリボンバッジ、啓発パンフレットなどの配布。マンモグラフィーの受診勧奨や乳がんの早期発見の呼びかけなど

### 3. 乳がん特別企画展「乳がんには負けないー乳がん看護認定看護師が答えるQ&A」

- ★ 日 時：2006年10月2日（月）～31日（火）10:30～17:00（土・日・祝日は休館）
- ★ 場 所：日本看護協会ビル3階JNAプラザ
- ★ 入 場 料：無料
- ★ 内 容：＜パネル展＞
  - ・乳がん看護認定看護師の役割と専門性の紹介
  - ・全国で活躍する乳がん看護認定看護師（マッピングでの紹介）
  - ・乳がんには負けないQ&A（よくある質問に答えます）
  - ・乳がんの推移、早期発見方法、マンモグラフィーなど
 ＜展示物＞
  - ・啓発パンフレット、がん触診モデル、パットや下着、かつらなど

### 4. JNAビル クリスタルコーンをピンクにライトアップ

- ★ 日 時：2006年10月1日（日）17:00～23:00（予定）



## ◆ 乳がん看護認定看護師とは

「認定看護師」とは「ある特定の看護分野において熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護実践のできる者」で、「実践」「指導」「相談」の役割を担います。資格認定には、5年以上の実務経験と6カ月以上の教育が必要です。分野は「救急看護」「ホスピスケア」「感染管理」など17分野で現在、2,486人が認定・登録されています。

今年度は、5つの分野（「訪問看護」「乳がん看護」「摂食・嚥下障害看護」「小児救急看護」「認知症高齢者看護」）において初の認定者が誕生しました（「乳がん看護認定看護師」は20人）。

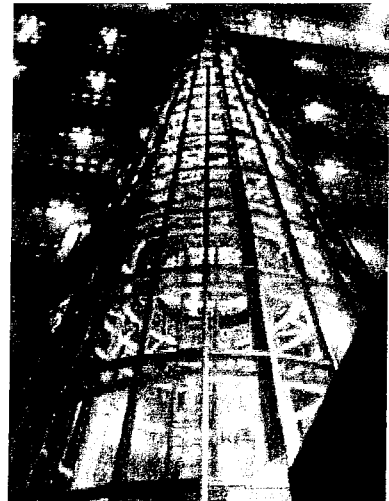
「乳がん看護認定看護師」は、患者と家族への治療にともなう身体的・心理的・社会的サポートはもちろん、治療選択のサポートやボディイメージの変容にかかわるケア、術後のリンパ浮腫予防のための患者教育などを行います。

さらに、乳がん患者に携わる看護師への指導・相談により、実践的・直接的なケアの向上と乳がん看護の普及のためのリーダーとなり、チーム医療の中核になる役割も担っています。

「乳がん看護認定看護師」の他にも、「がん看護専門看護師」をはじめ、「がん性疼痛看護認定看護師」「がん化学療法看護認定看護師」「ホスピスケア認定看護師」が乳がん看護の領域で活躍しています。



JNA プラザでの「乳がん特別企画展」(昨年)



クリスタルコーンのライトアップ(昨年)

## ◆ 日本看護協会へのアクセス ◆

【住所】東京都渋谷区神宮前 5-8-2 【電話】03-5778-8831(代表)

【交通】●JR山手線「原宿」駅下車、表参道口 徒歩10分

●東京メトロ千代田・銀座線・半蔵門線「表参道」駅下車、徒歩8分

●東京メトロ千代田線「明治神宮前」駅下車、4番出口徒歩5分

<お問合せ先>社団法人 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp http://www.nurse.or.jp/

